



Webハザードマップ

～災害リスク情報や避難情報をオーダーメイドで可視化！～



土砂災害



浸水(洪水・内水)



地震・液状化



津波・高潮



避難施設

「Webハザードマップ」は、災害リスク毎に作成していた紙版ハザードマップをDX化し、様々な情報を分かりやすく一元化したマップです。パソコン・スマートフォン等の情報端末から自由に閲覧でき、閲覧者自身で必要とする情報を選択することが可能です。端末上で情報を確認できるため、印刷・配布にかかる費用を抑えることができ、トータルコストの削減にも繋がります。

分散していた情報を…



1つにまとめて閲覧しやすく

複数の災害リスク情報を
1つの地図上で表示し、
情報を分かりやすく公開

※ 印刷費の削減にも繋がります



様々な災害リスク情報を一元化

- 洪水や津波など、これまで一つの地図上に表現することが難しく分散していた災害リスク情報を、一つの地図上に集約し情報を分かりやすく公開することができます。



地域に密着した情報更新が可能

- 独自に検討された災害リスク情報や防災情報など、ご依頼に合わせて情報を集約することができます。
- 地域の実情に沿ったハザードマップが作成できます。



簡単に確認・利用できるシンプルサービス

- 従来のPDFファイルを利用したWeb閲覧よりも見やすく、インターネットを介して自由に閲覧できます。
- GPS機能を利用した現在地検索も可能です。



ネットワークへの負担を考慮

- セキュリティ対策が施されたクラウドサーバを利用します。
※現在お使いのサーバもご利用いただけます。
- アクセス集中時でも安定して閲覧することができます。



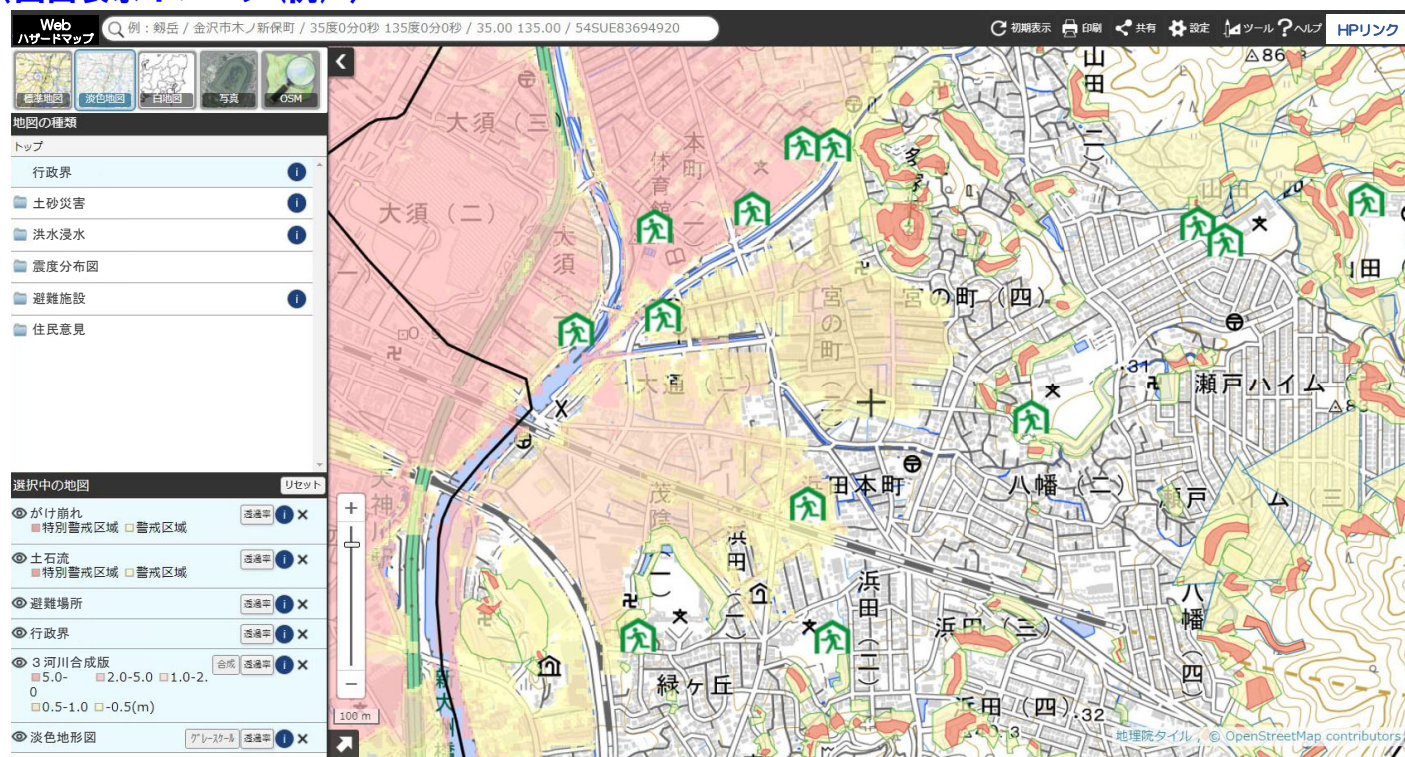
【Webハザードマップ作成概要】

掲載情報は、自由にカスタマイズし掲載することができます。また、公開後、掲載情報に更新や変更が生じた場合は、容易かつ迅速に更新及び公開することができます。

〈Webハザードマップ掲載情報(例)〉

項 目	概 要
地形図	◆ 地理院地図(標準地図・白地図・航空写真)、OpenStreetMap ◆ 自治体が保有するDMなど(著作権に問題のない地図であれば利用可能)
災害リスク情報	◆ GIS データであれば、どのような災害リスク情報も掲載が可能
施設情報	◆ マップ上に表示したい施設を掲載することが可能 ◆ 地図上のピクトグラムに施設情報(名称、住所、電話番号、避難所適応区分など)を追加することも可能
住民情報	◆ ワークショップ等で得られた「住民意見」を反映することが可能
その他	◆ 特に注意が必要な箇所や目印にしたい箇所などには、地図上に「写真画像データ」や「GoogleStreetView 画面」をリンク表示させることが可能 ◆ 防災関連情報のみならず、生活情報(ゴミステーション、コミュニティバス停留所など)や都市計画情報(道路幅員、公園など)の掲載も可能

〈画面表示イメージ(例)〉



〈費用体系〉 ※ 基本的には見積ベースとなります。お気軽にお問合せください。

諸作業

- ・ 計画準備
- ・ 資料収集
- ・ 報告書作成 など

マップ作成

- ・ 掲載情報整理
- ・ GISデータ化
- ・ Webマップ化 など

サーバー設置費

- ・ サーバー初期設置費
- ・ サーバー利用料(年単位) など